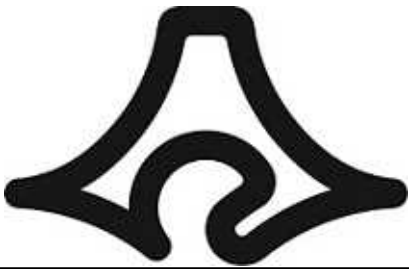


提供日 2025/11/04
タイトル 産業廃棄物の実態調査（令和5年度実績）
担当 暮らし・環境部 環境局廃棄物リサイクル課
連絡先 産業廃棄物班
TEL 054-221-2423



産業廃棄物の実態調査結果（令和5年度実績）
～排出量は増加、最終処分量は減少～

産業廃棄物の排出事業者及び処理業者から提出された令和5年度分の報告を基に行った実態調査の結果を取りまとめました。

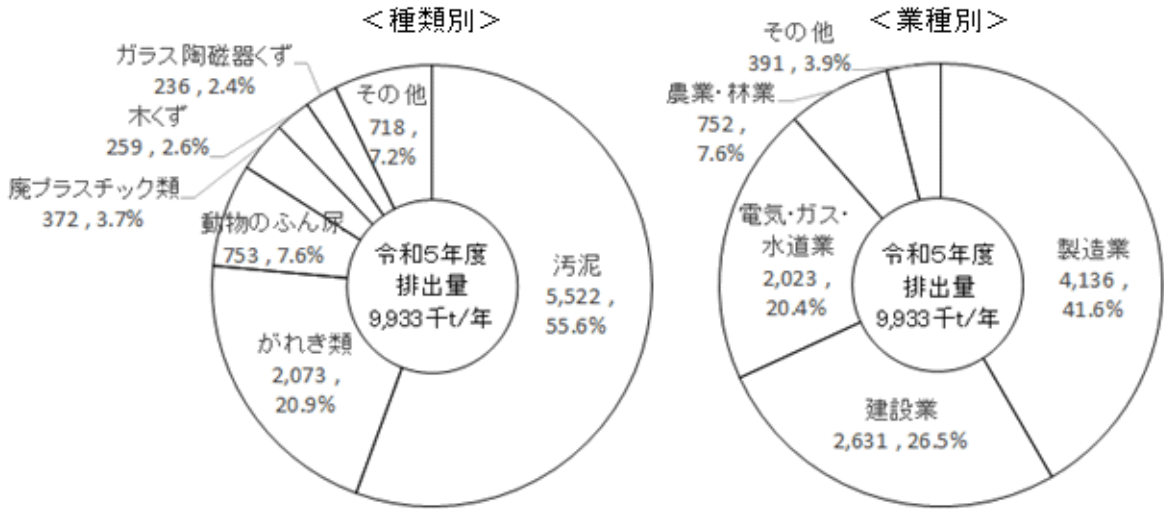
- 1 調査結果の概要
- 排出量は9,933千トンであり、前年度（9,408千トン）より524千トン（5.6%）増加しました。
 - 最終処分量は228千トンであり、前年度（232千トン）より4千トン（1.9%）減少しました。

（単位：千トン）

区分	令和4年度実績	令和5年度実績	目標値(※)
排出量	9,408	9,933	—
最終処分量	232	228	229
再生利用量	4,146	4,214	—

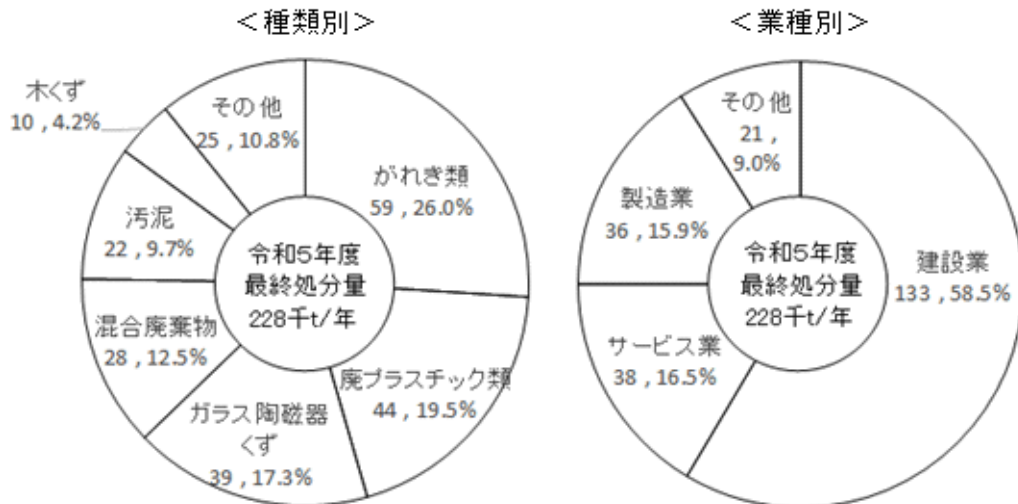
※第4次静岡県循環型社会形成計画における毎年度の目標値

- 2 排出量
- 種類別では、汚泥、がれき類及び動物のふん尿の上位3品目で排出量の約84%を占めました。
 - 業種別では、製造業、建設業及び電気・ガス・水道業の上位3業種で排出量の約89%を占めました。
 - 前年度に比べ、電気・ガス・水道業の汚泥（380千トン増加）、製造業の汚泥（132千トン増加）が増加しました。



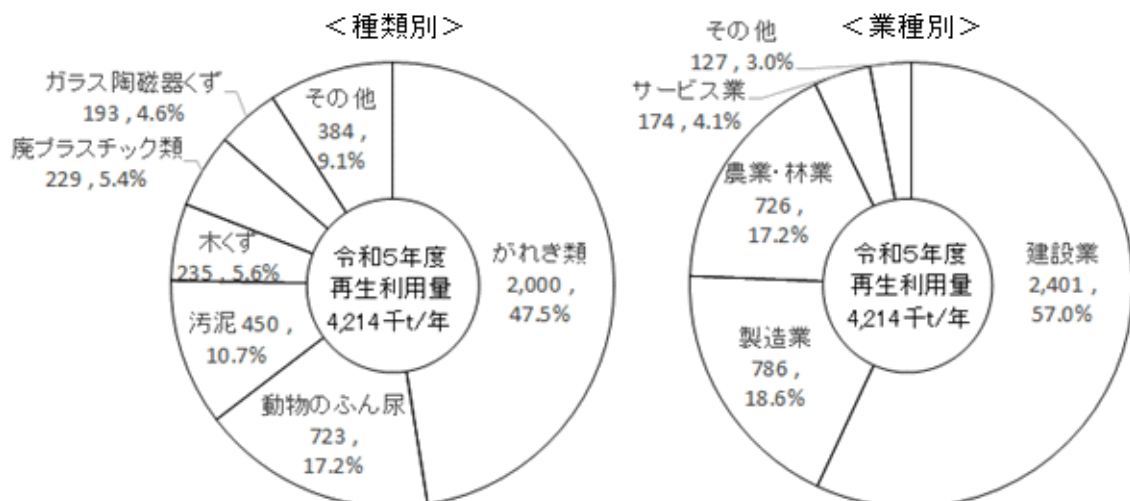
3 最終処分量

- 種類別では、がれき類、廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、並びに混合廃棄物の上位4品目で最終処分量の約75%を占めました。
- 業種別では、建設業、サービス業及び製造業の上位3業種で最終処分量の約91%を占めました。
- 前年度に比べ、製造業の汚泥(4千トン減少)、建設業のがれき類(10千トン減少)が減少しました。また、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(全業種で6千トン減少)が減少しました。



4 再生利用量

- 再生利用量は4,214千トンで、前年度(4,146千トン)より68千トン(1.6%)増加しました。
- 種類別では、がれき類、動物のふん尿及び汚泥の上位3品目で再生利用量の約75%を占めました。
- 業種別では、建設業、製造業及び農業・林業の上位3業種で再生利用量の約93%を占めました。
- 前年度に比べ、製造業の汚泥(232千トン増加)が増加しました。



※数値は四捨五入しているため、割合や合計値が合わない場合があります。

参加者募集告知 ・ 催事等の当日取材 ・ 実施事業等の紹介 ・ [○調査結果等の公表](#)